

# 令和4年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

評価実施者

瀧野純敏 年齢 84 才 議員経験年数 16 年

評価日

令和5年3月31日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<p>1. 議員活動の原則</p> <p>(ア) 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。</p>	○	積極的に自らの意見を述べた。また、異なる考えにも耳を傾け、執行部との対応も積極的に行った。	依然として執行部との意見のずれに、積極的に対応したい。
<p>(イ) 2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。</p>	○	町内視察も積極的に行い、執行部への現場説明報告など行った。町民の意見も聞き執行部と折衝した。	災害復旧・コロナ禍も、後半にかかり今後は復興を目指し、活動したい。
<p>3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。</p>	△	コロナ禍3年目で、集会などの町民との意見交換の場がなく、苦しい1年間であった。	今後は、町民個別の意見を聞き柔軟に対応して、町民が安心して暮らせる町にしたい。
<p>2. 自由討議の拡大</p> <p>町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。</p>	○	自ら町内の課題を調査し意見を述べたが、町民との交流の場が少なく、議員同士の合意形成に努めることができなかった。	議会改革の一旦として、自由討議の本質を鑑み、今後は積極的に議論を尽くし合意形成に努めたい。
<p>3. 議会費および政務活動費</p> <p>政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。</p>	○	コロナ禍のため、活動が制限されたが適正に使用し報告書は提出した。残金がでたのは力不足。残念だ。	今後も明確に公表し、適正に使いたい。
<p>4. 選挙公約の評価</p>	△	高齢者医療費の増額などコロナ禍の中どさくさに紛れての施策、町民に合わず顔がない。	町民が納得する議会活動をし、依然と続くコロナ禍の中行政の言いなりをただす気力を持って行動したい。